

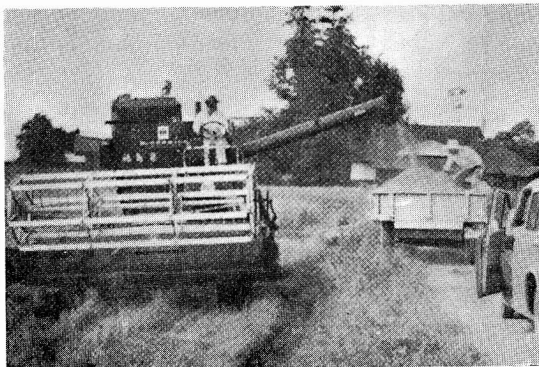
一様ではない。細木や竹などを横にして掛けて乾燥する方法が、新潟地方からはせかけとしてはいつてきているが、容易には普及していない。ほんにの中央に細木を立て、下部を地面につかないようにしたのが、やや改良された点である。

北会津村では、ここに農業改善の飛躍的發展を遂げようとしているため、機械で刈取り、同時に脱穀する方法なども試みられている。

9、脱穀、調整 稲こきはせんばごきといって、はがねの板を並べたものの間にはさんでこいた。これが古く



機械で稲を刈取ったあと、中荒井付近(41.10.16写す)



コンバインの稲刈取作業



背負いから馬の背に、リヤカーから動力機による稲あげに進歩した風景(41.10.16) 田村山付近